

## 第1号議案 平成26年度事業計画に関する件

### (平成25年度までの取組)

当協会は、平成6年2月に高知県生態系協会（平成9年4月に社団法人に認可、平成15年に現名称に改称）として高知市で設立。森や水辺に生息する多様なビオトープ（生物生息空間）の保全や、環境教育活動に取り組んできた。

会費・募金・寄付金によって貴重な生物の生息地を取得して保全するナショナルトラスト活動は、平成12年に土佐町の森林を取得して以来、四万十町を中心に高知県全体で約272ヘクタールの森や水辺を取得した。取得したトラスト地では、ボランティアの協力を得て、ヤイロチョウなど「生物調査」、間伐等の「森林保全活動」、森と水辺のエコスクールなどの「環境教育活動」、ヤイロチョウを通じた「国際交流活動」、中西悟堂協会や日本めだかトラスト協会などの「団体支援活動」等に取り組んできた。

そして、平成25年度までに、野生生物の生息地保護・調査・環境教育・環境団体の支援・ヤイロチョウを通じた国際交流等の拠点となる「四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター」を設置した。

ヤイロチョウが「高知県の鳥」に指定されて50年という節目の年を迎える平成26年度は、生命の共生を理念とした活動の原点に立ち返って下記の活動に取り組みたい。

### (平成26年度の主な活動)

- 1) トラスト地の整備・拡充に向けて、会員募集・募金活動等の推進（自主事業）
- 2) 普及啓発のための、『森のしずく110号～113号』など出版活動の推進（自主事業）
- 3) 「四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター」の運営（自主事業・委託事業）
  - ・トラスト地の生物調査&整備・エコツアーガイド養成講座・ジュニアレンジャー養成講座
  - ・森と水辺のエコスクール（平成25年度に作成したオリジナル紙芝居、ポケット図鑑・ヤイロチョウのダンスなどを活用した学習を含む）・森と水辺のユネスコ・エコパーク計画の普及・環境団体の研修活動支援・「ネイチャーセンター友の会」会員募集などを通じたセンターの利用促進 他
- 4) トラストの森に設置したウェブカメラ・システムの運用（自主事業）
- 5) 「四万十町の生物多様性の町づくり」の推進（地球環境基金助成事業、自主事業）
- 6) ヤイロチョウ保護のための国際交流の推進（イオン環境財団助成事業）
- 7) 国際的なヤイロチョウ保護基金の創設（自主事業、国際連携事業）
- 8) 野鳥とふれ合う環境教育活動の推進（自主事業、委託事業）
- 9) 国際ヤイロチョウ保護基金の創設によるヤイロチョウ保護・調査の国際連携（自主事業）
- 10) 『野鳥居7号』の発行と第21回中西悟堂事跡の旅の開催（自主事業・支援事業）
- 11) 『日本めだか年鑑2014年版』の発行、「第14回全国めだかシンポジウム」の開催（支援事業）
- 12) 四国に飛来するツル・コウノトリ保護のネットワーク作り（支援事業）
- 13) 東日本大震災や原発事故被害地域の児童の受入れ協力（支援事業）
- 14) その他、ロードキル・防鳥網・原発・乱開発・農薬被害防止など、生態系保全に関する政策提言（自主事業）